

資料 1

第2次村上市環境基本計画

令和5年度 進捗状況報告書

令和6年12月

新潟県 村上市

1. 第2次村上市環境基本計画の目指すもの

平成23年3月に策定した「第1次村上市環境基本計画」では、「山・川・海 豊かな自然に育まれた歴史と伝統を継承するまち」を望ましい環境像として掲げ、環境の保全及び創造に関する施策に取り組んでまいりました。

新しく令和3年3月に策定した「第2次村上市環境基本計画」では、市の豊かな環境を将来世代へと継承していくことを念頭に、近年の気候変動や地球温暖化、脱炭素社会に向けた取組など環境問題に関する社会情勢の変化に対応するとともに、本市における環境問題の解決や将来に向けた環境施策の更なる推進を図ることで、環境像「豊かな自然と調和しながら発展して共生する循環共生型社会のまち」の実現を目指します。

2. 計画の期間

計画期間は、令和3年度（2021年度）から12年度（2030年度）までの10年間です。

また、経済社会情勢の変化や新たな環境問題の解決に対しても柔軟に対応するため、期間の中間年度において見直しを行い、必要に応じて計画を修正します。

3. 環境基本計画の具体的な展開

本計画では、目指す環境像の実現に向け、「自然環境」「循環共生」「地球温暖化」「文化景観」「教育協働」という5つの基本目標を掲げ、各環境施策がSDGsの17の目標達成に貢献できるよう、施策の方向性を定めています。

そして、本計画の実効性を高めるため、毎年度、計画の進行管理を行い、環境指標および環境施策について点検・評価を行うこととします。

4. 令和5年度進捗状況報告

（1）環境指標の進捗状況

環境指標の進捗状況については、関係各課から実績値を求め、昨年度の実績値や計画目標値と比較し、「別紙1 令和5年度 環境基本計画 環境指標の進捗状況」にまとめました。

令和5年度は「目標達成」の指標が13、「前進」が9、「後退」が6となりました。

（２）環境施策

令和５年度の環境施策の達成状況について、各課に点検・評価を求め、「【別紙２】令和５年度 環境基本計画 施策評価一覧」にまとめました。

なお、昨年度の環境計画審議会から「Ａ」評価（順調である。前年度に比べ、実施成果または実施内容が向上した。良好な状態で維持している）をより実態に即した評価となるよう、以下のとおり分割しました。

「Ａ」・・・順調である。前年度に比べ、実施成果または実施内容が向上した。

「Ａ（現状維持）」・・・順調である。良好な状態で維持している。

基本目標ごとの令和５年度の主な施策の成果については、以下のとおりです。（番号は、“基本目標－施策の方向性－施策－具体的施策”の順）

１ 市の自然豊かな環境の後世への継承

（１－１－２－１－２）ボランティア森林整備の活動促進

令和５年１０月２８日～２９日に友好交流都市の東京都荒川区との連携事業で「鮭のまちで学ぶ森林・自然体験ツアー」を共催し、荒川区の小学校４～６年生が朝日緑の少年団と一緒に「さけの森林づくり活動」で植樹を実施することで、ボランティア森林整備の活動を促進しました。

（１－２－２－２－２）外来生物の侵入・拡散防止

環境保全活動を行う市民団体より、周囲の植物に寄生して養分を得て、在来植生を衰退させる外来植物の「アメリカネナシカズラ」が岩船～瀬波沿岸に生育しており、除去についての相談を受けました。対策として海岸清掃を行う各種団体に協力を依頼し、除去方法を記載したチラシの配布および指導により外来生物の拡散防止と駆除を行いました。

２ 持続可能な循環共生型の社会

（２－１－１－３－２）エコカーの普及促進

エコカーの普及促進のため、民間のＥＶ充電サービス事業者と連携し、市内のＥＶ充電インフラを拡充する事業として公共施設１１箇所にＥＶ充電器（６ｋＷ）を２２基設置しました。この事業は、経済産業省の充電インフラ整備補助金を活用し、事業者の負担により、ＥＶ充電設備の導入を行うもので、充電設備の利用者はスマートフォンのアプリを使って、充電サービスを有償で受けることができます。

（２－３－１－２－１）林業の基盤整備事業を推進

林業の活性化と地域脱炭素の実現を目指し、森林づくり事業や木質バイオマス発電事業について、関係機関との連携を図るため、令和５年９月２２日に第１回 森林資源の経済循環システムづくり検

討会を開催しました。その後も川上、川中、川下それぞれの分科会を開催し、課題について意見交換を行い、林業基盤整備の推進に取り組みました。

3 地球規模の気候変動等を意識した環境対策の展開

(3-2-1-2-2) 洋上風力発電事業の情報発信

令和5年12月13日、「新潟県村上市及び胎内市沖」における洋上風力発電事業者として、三井物産株式会社、RWE Offshore Wind Japan 村上胎内株式会社及び大阪瓦斯株式会社を構成員とするコンソーシアム「村上胎内洋上風力コンソーシアム」が選定されたことに伴い、洋上風力発電事業の最新動向について、市報およびホームページで周知しました。

(3-4-2-1-1) 熱中症対策の推進

令和5年度は、かつてない猛暑であったことから、熱中症予防シェルターを市内5か所設置し、暑い日の休憩場所として市民に開放しました。また令和6年1月に「熱中症対策推進ワーキングチーム」を立ち上げ、政府の熱中症対策実行計画に基づき、具体的な施策を定めた「村上市熱中症対策実行プラン」の策定を進めました。

4 歴史・伝統と美しい自然を活かした景観づくり

(3-4-2-1-1) 文化財の保護

令和6年3月19日に「春木山遺跡出土品」、「道端遺跡出土品」の2件を新たに市指定文化材に追加し、文化財を適正に保護しました。

5 市民や産業とともに発展する環境づくり

(5-1-1-1-2)

コロナ禍や台風等の影響により、平成30年度から開催できていなかった「環境フェスタ村上」を5年ぶりに開催し、イベント内では、気候変動による影響や地球温暖化対策、5Rの推進、次世代自動車の普及促進など、来場された方に環境問題に対する意識啓発の推進を行いました。

また、環境フェスタ実行委員会でイベントの企画を進める中で、環境保全活動を行う市民団体同士の交流を深めることができました。

令和５年度の集計結果を表１に、令和４年度の集計結果を参考に示します。

表１ 令和５年度環境施策評価の集計結果

評価 基本目標	令和５年度 評価集計				
	A	A 現状 維持	B	C	合計
１ 市の自然豊かな環境の後世への継承	6	26	1	3	36
２ 持続可能な循環共生型の社会	5	54	2	9	70
３ 地球規模の気候変動等を意識した環境対策の展開	19	21	3	0	43
４ 歴史・伝統と美しい自然を活かした景観づくり	1	14	1	1	17
５ 市民や産業とともに発展する環境づくり	6	17	0	2	25
合 計	37	132	7	15	191
割 合	19.4%	69.1%	3.6%	7.9%	100%

※施策を１件追加したため令和４年度と施策数に差異あり。

参考 令和４年度環境施策評価の再評価集計結果

評価 基本目標	令和４年度 評価集計				
	A	A 現状 維持	B	C	合計
１ 市の自然豊かな環境の後世への継承	6	22	3	5	36
２ 持続可能な循環共生型の社会	18	39	2	11	70
３ 地球規模の気候変動等を意識した環境対策の展開	20	14	0	8	42
４ 歴史・伝統と美しい自然を活かした景観づくり	2	14	0	1	17
５ 市民や産業とともに発展する環境づくり	5	14	0	6	25
合 計	51	103	5	31	190
割 合	26.9%	54.2%	2.6%	16.3%	100%